

令和5年度第2回神奈川県地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所評価委員会 議事録

**議題1 令和4年度の業務実績評価について**

---

事務局が資料1から資料4までを説明した。

引き続き、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所（以下、「K I S T E C」）が自己評価について説明した。

**【質疑応答】**

**○堀委員**

K I S T E Cの自己評価と県の評価において、2ヶ所の差異があるという説明をいただいたが、よくわからないところがある。

資料2 27ページの効果的・効率的な組織運営については、将来上がる見込みの電気料金等の見込みが甘かったために、合わなかったと聞こえるが、K I S T E Cとしては、Sだと主張されるのか、Aが妥当だと主張されるのか教えていただきたい。

**○K I S T E C**

Sという自己評価であるが、Sを主張するものではなく、少し補足をさせていただいた。

**○堀委員**

県の意見についてそれほど疑義がないというスタンスでよいということを理解した。

収入の確保についても同様の考えでよいか。

**○K I S T E C**

予算編成は県と同様に行うが、県は国の交付金等を最大で予算を組む。しかし、交付金は、各都道府県に割り振るため、予算計上した額は認められない場合もあり、その場合は、支出を減らして収支を同じにする。受け取れる可能性のある交付金は、収入として全額予算に組み込む。それは我々の目標なので、それに向けて努力をする。ただ、当所が計上した額の多くは競争的資金で、当然100%は採択されないのが、当然に支出を抑制する。そうした中で、去年は電気代が高騰し、約8,000万円の電気代が約1億3000万円に跳ね上がってしまった。努力に次ぐ努力を当所一丸となって実施し、収入を上げたことや電気代を節約したこと、時間外勤務を減らしたことにより、最終的に2億3000万円の黒字が出たが、それは、来年度使用する額も含まれている。最終利益1点だけを見て、見込みが甘いと言われると、違うと言いたかった。一方で、予算として目標を掲げていて、結果として目標を超えていないので、Sを主張することは難しいと思っている。

ただ、努力していることを申し上げたかった。

#### ○堀委員

資料2 33ページの収入確保も同様に、目標に対して最大限努力して、8.6億円の外部資金を獲得したということで理解した。

高い目標を掲げていると思うし、不可抗力もあるという事情も理解できたので、この評価でお互いに歩み寄れているということであれば、来年に向けて頑張っていたきたい。

#### ○橋本委員

少しわからない部分があったが、堀委員の質問で明確になった。

S評価とA評価自体が本当に素晴らしい全体の成果だと思っているので、引き続き目標を下げずに、常に高い目標を掲げて、それを目指して色々な取組から色々な企業等を支援していただきたい。

#### ○遠藤委員

K I S T E Cの自己評価がS評価のところを、県の評価ではA評価にしていることについて、今の説明で十分理解できた。

K I S T E Cとしても努力をして、タイムリーに料金や組織を変えているので、このままのスピードで経営を続けていただきたい。

#### ○吉川委員

県の評価案に対して異論ない。

評価についての見解の相違はあったが、双方で合意に至っており、状況は理解できた。前回も申し上げたとおり、大変素晴らしい評価であり、業績を上げていて、それを県が受け止めている表現だと解釈した。

今後も引き続きお願いしたい。

#### ○岸本委員長

この評価については、皆様にご理解いただき、ご了解いただいたのかなと思う。

業務や財務のことでS評価を取ることは、目に見えてすごいことが起きていないと難しいのではと思う。特に中期計画の最初の時期にSになってしまうと、次に打つ手が無くなってしまうので、今後改善をするところが残っている評価の方が、全体としては良いと思う。今後種々検討されて、Sになることを考えていただきたい。

私もこの評価書については、妥当だと考えている。

それから、実績評価書に各委員からの主な意見ということで前回の意見がピックアップされているが、何か付け加えることがあればご指摘いただきたい。

#### ○堀委員

前回の意見をかなり入れていただいていると思っているので、特に指摘は

ないが、昨今、かなりサイバー攻撃が噂になっていて、特にウクライナ戦争が始まって、海外から日本企業に対するアタックが増えていると聞いている。特に公共施設の設備も狙われやすいので、神奈川県もK I S T E Cも色々対策を打たれているとは思いますが、以前、ゼロトラストの話を知っているから、早める必要はないが、強固にしていきたい。

また、現状、進捗があれば少し説明もお願いしたい。

## ○K I S T E C

現状を把握した上で設計していくために、本格的に調査を実施し、今年度中には基本設計を行うようなスケジュールで進めている。

## ○岸本委員長

今回の資料の中では、AIのことが強調されているが、もう一つ環境問題に取り組むと県から発言があり、もっと色々な形で進めてほしいという意見があったと思うので、記載していただきたい。特に中小企業の方々がどういう形でこれから環境問題に取り組んでいくかというかなり難しい課題でもあると思うので、支援していただきたい。

実際の数値が上がってきていることは結果として出ているが、県の産業の活性化に繋がっているかについては、数字に表れないので、実際に相談に来られた方々の状況を把握していただいて、数字だけではない効果を見せていくことを進めていただきたい。県民の方々にとっても科学技術を活性化することが大切だということを知っていただく上でも重要だと思うので、ぜひ取り組んでいただきたい。

評価内容は、この委員会としては適当であるということによろしいか。

(委員から異議なし)

## ○岸本委員長

評価書の字句修正の確認及び評価委員会として作成する意見書の文案は委員長一任とさせていただくがよろしいか。

(委員から異議なし)

## ○岸本委員長

それでは事務局の方で評価書の決定手続きを進めていただければと思う。

## 議題2 その他

---

事務局から次回開催予定について連絡した。

## OKISTEC

本日も指摘いただいた点、真摯に受け止めさせていただいて、より良い運営に繋げていきたい。特に岸本委員長からいただいた、A評価を残した方が、努力目標があって良いというご意見は大変励みになるので、Sに変えていけるように努力したいと思う。単なる運営ではなく、経営という観点が非常に重要で、この情勢の中で電気代も変わっていくし、それをどう受け止めて、単なる予算合わせの運営ではなく、改善ではないより良い方向にビジョンを作り出すような形で、なおかつ新しい創造という中小企業支援として使命を果たすべき経営を取り入れていきたい。

ネットワーク環境やその他老朽化も含めて、経営努力をするところが多くあることがわかったので、その点も含めて、またご指導、ご支援をいただければと思う。